

横浜市立大学 後期授業ルールブック

2020年9月7日

横浜市立大学



ルールブック 目次

1. 後期授業実施にあたり
2. 感染予防対策に向けて
3. オンライン授業受講のルール
4. オンライン授業受講上の注意点
5. トラブルシューティング

1. 後期授業の実施にあたり

後期授業の実施にあたり

横浜市立大学では、5月7日から前期授業をすべてオンラインによる遠隔授業として実施しました。この間、対面授業と同程度の教育効果を保てるように学生、教職員が一丸となって行ってきました。

後期からは、一部対面授業となりますが、後期も多くの授業がオンラインによる遠隔授業となります。

そこで、前期授業を踏まえ、後期授業をより充実したものとするために、ルールブックを作成しました。

学生の皆さんに、このルールブックを熟読してもらい、健康に留意しながら、より一層、学修に励んでもらいたいと思います。

【オンライン授業 履修の心得】

- 対面授業と同様の準備をして受講するように心がけましょう。
- 対面授業と同様に緊張感を持ち、教員や他の受講生の目を意識して受講するように心がけましょう。

2. 感染予防対策に向けて

感染予防対策に向けて①

感染予防の基本は、体調管理と手洗い、咳エチケット、人混みを避けることです。遠隔授業・対面授業問わず、横浜市立大学の学生として、「自分が感染しない」、「人に感染させない」ために、普段から感染対策を徹底して行動してください。

※ 保健管理センター長からの「健康管理と新しい生活様式」のお知らせを必ず一読してください。

1. 熱がある、体調が悪いときは登校しない

- 登校前に検温し、37度以上ある場合、倦怠感や咳がある場合などは登校を控えてください。
(心配な時は、当日でも、必ず保健管理センター(045-787-2270)へ連絡し、教員へもメール等で連絡してください。)

2. 「マスク」の着用

- 登下校時、授業時は、必ず「マスク」を着用してください。
(交通機関の混雑する時間を避ける)

参考：学生、教職員のための大学における感染予防対策の手引き(2020/6/1)

https://www.yokohama-cu.ac.jp/health/li0g9u0000000a2b-att/0_covid19_manual0601.pdf

感染予防対策に向けて②

3. 頻回の手洗い

- せっけんによるこまめな手洗いをしてください（手指消毒液も有用）。登校時・飲食の前後・鼻をかんだり咳をした後・共有の物を触った後トイレの後など。

4. 人と人の間隔をあける

- 2メートル以上（最低1メートル）の距離をあけることが望ましい。
- 正対することを避ける。
- 登下校時には、会話を小さくするか控える。
- エレベーターはできるだけ避け、可能な範囲で階段を使用してください。

感染予防対策に向けて③

5. 食事の時の注意

- できるだけ個別で食事を取り、同席する際は対面にならない席で、近距離での会話を避ける。料理、飲み物のシェアは控える。
- 大学が指定した場所で食事をとること。私語は控える。

6. こんな時は保健管理センターへ必ず連絡・相談をしてください

- 新型コロナウイルス感染症と診断された
- 保健所から「濃厚接触者」と言われた
- 新型コロナウイルス感染症にかかったか心配（webページ参照）
- <https://www.yokohama-cu.ac.jp/health/mustread/gk8ilm00000000s7-att/a1589358983042.pdf>

感染予防対策に向けて④

学内での三密状態を未然に回避し、感染者が発生した場合に濃厚接触者の把握をするために、入退構予定を提出してもらいます。入退構予定の提出方法については、別途、お知らせします。

【対面授業のルール】

大学は、構内の消毒と点検を毎日、定期的に行っていますが、みなさんも感染防止対策に協力をお願いします。

1. キャンパスへの入退構

- 指示された動線に従って、入退構してください。

2. 建物への入構

- 入口に設置してある消毒剤で、手指消毒をして、入構してください。

3. 教室への入室時

- 2方向の窓やドアを、出来るだけ開放してください。
難しい場合には、30分に1回、5分程度の換気を目安に窓やドアの開閉をしてください。
- 着席をしたら、席の移動はなるべくしないようにしてください。

4. 授業終了後

- 飛沫が飛散した等、気になる場合には、自分の使用した机椅子は各自で消毒をしてください。備品の場合も同様にしてください。
(ティッシュ等は持参すること)

5. 教室からの退出時

- 必要に応じて消毒作業を済ませたら、速やかに退出してください。
教員が最終確認を行って一番最後に退出します。

理学部・生命ナノシステム科学研究科・生命医科学研究科における実験・実習上の注意点

- 常時、マスク着用。
- 実験室、実習室に入退出する場合は、アルコール消毒を行う。
- 実験室、実習室内では、密を避ける行動を心がける。
- 実験室、実習室内では、大きな声を出すような会話は避ける。
- 実験、実習終了後は、すみやかに退出する。

3. オンライン授業受講のルール

11



オンライン授業受講のルール

1. 受講開始前

教員の指示に従ってください。(教員によっては、ビデオをONにするよう指示がありえる)

- マイクのON / OFF
- ビデオのON / OFF
- TeamsやYCU Portalでの講義連絡の確認 (設定のある場合)
- 必ず時間内 (可能であれば5分前) に入室しましょう
- 質問の仕方
→ チャットやsli.do、Formsなど

2. 授業中

授業に集中しましょう

- 学内でオンライン授業を受講する場合は、必ずイヤフォンやヘッドフォンなど利用しましょう
- 必ず騒音などのない、普段の授業を受ける環境で受講してください
- 質問時間など教員の指示に注意しましょう
- 議論の際は事前にマイクの準備をしておきましょう (マイクテストも毎回忘れずに行ってください)

4. オンライン授業受講上の注意点

受講上の注意点① 授業時間前・授業中・授業後

1. 必ず授業時間前に待機室に入室してください。

- 遅刻をして入室する学生が散見されます。自身の学習にとってよくないだけでなく、他の学生の講義の迷惑となります。時間に余裕をもって、入室の準備をしてください。

2. いつビデオをオンにしても良いように準備して講義に臨んでください。

- 効果的な授業運営のため、ビデオをオンにするよう指示されることがあります。指示にしたがってください。

3. 見逃し配信の視聴は、出席を代替するものではありません!

- 「見逃し配信での受講の場合は、授業の欠席扱いになるのでしょうか」という質問を受けますが、原則として、定められた時間に視聴していない場合は欠席として扱います。

なお、通信状態や機器（PC・タブレット）などの異常により、見逃し配信を視聴せざるを得なかったという場合は、直ちに、その旨を担当教員に申し出てください。事情によっては適切に対応します。

ただし、正当な理由による見逃し配信の視聴についても、異常のあった時点、あるいは、ビデオが配信された日からおおよそ1日以内に視聴することを原則とします。

受講上の注意点② レポート提出・著作権上の注意点

4. 遠隔授業では、成績評価に、レポートの提出が多く使われます。

- Forms, Teams等を通じて行われるレポート提出は、期日までに確実に提出できるよう、通信環境の良い状態で送信しましょう。
- 講義によっては、Formsで送信後に提出確認のメール送信が設定されている場合がありますので、メールを確認しましょう。

5. 法律・学則等に違反することのないように注意して下さい。

例えば・・・

- ZoomによるURLやパスワード、Teamsによる個人メールアドレスの情報等について、SNS等で公開したり、他者と共有してはいけません!
- 講義中の様子や、受講者の個人情報等（氏名・画像・ビデオ等）について、事前の許可なく写真、ビデオやスクリーンショットなどのあらゆる手段において記録したり取得してはいけません!
- 科目担当教員や受講者などから配布された資料などの電子ファイルやデータについて、無許可で他者に再配布してはいけません!
- 講義中にチャットやsli.doで質問をする場合は、文章マナーに配慮をしてください。

5. トラブルシューティング

トラブルシューティング

1. セキュリティ設定 ⇔ 入室の利便性

- Zoomのアップデートを週1回は行う
 - 古いバージョンでは正常に動作しないことがあります
- Zoom & Office 365にログインした状態で参加
 - 先生によってはセキュリティ設定を引き上げています
- 余裕ある通信環境の見直し
 - 回線の使用状況は逼迫していませんか？
→ 他の媒体（YouTube等）を視聴しながら授業を受けることなどは禁止です
 - パソコンのメモリは十分ですか？
→ 他のソフトは閉じましょう

2. それでもダメなら以下に参照してください

- <https://teleinfo.yokohama-cu.ac.jp/inquiry>